

一 砂在之 上茅津村

一 砂人 細工名村

一 砂人 塚原村

一 砂在之 坂下組

一 砂在之 上茅津村

一 砂在之 中茅津村

一 砂在之 牛澤組

一 砂在之 四ヶ組

一 砂在之 右之通四ヶ組御定人足高

一 砂在之 書上申候以上

一 式拾参人 下茅津村

一 六人 細工名村

一 式一人 塚原村

一 三拾壹人 坂下組

一 式拾七人 上茅津村

一 三拾六人 中茅津村

一 六拾参人 牛澤組

一 合五百人 四ヶ組

右之通四ヶ組御定人足高

書上申候以上

三月 中荒井村堰役 小森利八

以上の通り四ヶ組御定人足高が示されているのを見ると、思い堀や麻生堀の水下郷村は原則的には戸数割になっているが、割当高は少ないものの富川堰関係者も含まれていることがわかる。

〈参考資料〉

新編会津風土記

中荒井組土地帳（書上げ帳写し）

北会津村誌

会津の堰（会津史学会編）

小森五良家文書

なお、思い堀の流路については、齊藤正喜氏や小林幸雄氏に御協力をいただきました。